大人にはわからない日本文学史　高橋源一郎

構造理解　次の空欄にあてはまる語句を本文からそれぞれ抜き出しなさい。

第一段（二九九・1～三〇一・2）

周囲より遅れてビートルズのファンになったわたしは、その新曲がラジオで放送された日、「歴史的瞬間」に立ち会えたことに感動していた。それは、生まれて初めて「〔①　　〕」に触れた瞬間だった。

第二段（三〇一・3～三〇四・1）

〔②　　〕なわたしは、それまで、音楽や絵や文学は、すべて〔③　　〕の〔④　　〕な人物がつくったと思いこんでいた。わたしが、〔⑤　　〕音楽、絵、文学は、つまらないものと決めつけていた根拠は〔⑥　　〕にある。「歴史」の中では偉大な人たちが次々に現れ、新しい時代を作ってゆく。ところが、「現代」に近づくほど、「歴史」の授業はつまらなくなる。面白そうなもの、立派なものは、いつも過去にある。

「現在」は自分、「過去」は両親や祖先といえる。「過去」の人は多くの知識を持つ、〔⑦　　〕な人達だ。「歴史」もこれと同じように、過去への「敬意」とともにある。また、最も古い「過去」は〔⑧　　〕のようなものであり、「現在」では〔⑨　　〕になっているという考え方もある。これらの考え方には、時間を「不可逆的」なものとみなす共通点がある。

第三・四段（三〇四・2～三〇六・2）

小説は遠い「過去」の知らない作家が書いた作品に過ぎないと評価されていた。そこに違和感を覚えたわたしは、「過去」の小説を「現在」に遊びにこさせることで、その「〔⑩　　〕」から取り戻そうと思った。「歴史」は鑑賞用の絵ではなく、誰も考えたことのないものを作り出せるオモチャのようなものであるべきだ。

語句理解　次の各問いにそれぞれ答えなさい。

1　傍線部のカタカナは漢字に直し、漢字はその読みをひらがなで書きなさい。

(1)　歴史的シュンカン

(2)　ヨユウなどなかった

(3)　トツゼン、気づいた

(4)　唯一の考え

(5)　玉音放送を聞く

2　次の語について、意味の異なる語句をそれぞれ一つ選んで記号で答えなさい。

(1)　不可逆的
ア　非可逆的　イ　一回性　ウ　回復不能　エ　不可避

(2)　加速度的
ア　劇的　イ　指数関数的　ウ　突発的　エ　爆発的

3　次の空欄にあてはまる語句をそれぞれ本文中から二字で抜き出し、表現を完成させなさい。

(1)　過去の偉人に□□を払う

(2)　□□に値する作品に出合う

内容理解 次の各問いにそれぞれ答えなさい。

◇第一段（二九九・1〜三〇一・2）

1 「わたし」が「かなり遅れて（解散直前になって）ビートルズのファン」（二九九・2）になったのはなぜだと考えられるか。次の空欄にあてはまる語句を本文から**二字**で抜き出し、説明文を完成させなさい。

ビートルズは［　　］の存在ではないので、価値のあるものだと思っていなかったから。

2 「大きな感動」（三〇〇・14）とはどのようなものか。次の中から適当なものを**一つ**選んで記号で答えなさい。

ア　ビートルズを過去の曲から聞いて、最も新しい曲まで追いつくことができた達成感

イ　同時代の偉大な作品によって、「歴史」に対する自らの先入観が打ち砕かれた驚き

ウ　「玉音放送」のような、年表の一ページに残るほどの出来事を目の当たりにした興奮

エ　周囲の人が評価していても、自分は興味を持てなかったものを好きになれた安心感

［　　］

◇第二段（三〇一・3〜三〇四・1）

3 「すごく単純な少年でした」（三〇一・3）とあるが、「わたし」はどのような点で「単純」だったのか。次の中から適当なものを**一つ**選んで記号で答えなさい。

ア　学んだ知識を信じて、自分のものの見方を疑わない素直さ

イ　自分が知らないものでも知っていると言いはる子供っぽさ

ウ　歴史教育を学びつづけても、その本質をつかめない未熟さ

エ　自分が間違っていることをけして認めようとしない頑なさ

［　　］

4 「そういうもの」（三〇二・5）とは何を指しているか。本文から**三十字以内**で抜き出しなさい。

30

5 「少し古い「過去」とは父親（や母親）であり、もっと古い「過去」は祖父（や祖母）なのかもしれません」（三〇二・14〜15）とはどういうことか。「距離」「立派」の二語を用いながら、**三十字以内**で説明しなさい。

30

◇第三・四段（三〇四・2〜三〇六・2）

6 「あること」（三〇四・4）とはどういうことか。本文から**三十字以内**で抜き出しなさい（読点・カギ括弧も一字分）。

小説へのぼくの評価が、ぼくがそれまで聞いていた

と、まるで違っていたこと。

30

7 「それら」（三〇四・12）とは何を指しているか。本文から**十字以内**で抜き出しなさい。

10

8 「わたし」が「よく知っている友達のような気」（三〇四・12）がしたのはなぜか。**三十字以内**で説明しなさい。

30

9 「「歴史」というものは、鑑賞するために壁に掛けられた絵ではありません。……オモチャみたいなものではないでしょうか」（三〇五・15〜三〇六・2）とあるが、筆者は歴史をどのようなものと考えているか。「評判」という語を使って説明しなさい。

主題理解 本文について述べた次の文の中から、適当なものを**一つ**選んで記号で答えなさい。

ア 筆者は歴史教育を受けたことで、「歴史」と同じように、小説もまた過去につくられたものは偉大である一方、現在の小説は取るに足らない、つまらないものばかりであることを知った。

イ 現在の視点から、過去に向かえば向かうほど過去の人物の偉大さが増して見えるのは、歴史に対する考え方が発明され、それをもとに歴史教育が始まったことが原因である。

ウ 筆者は、「歴史」を過去のある一点に留めておくのではなく、現在や未来の立場から見つめ直し、再評価することが、これからの歴史教育に必要だと主張している。

エ 筆者が「文学史」を読むことで、過去の小説の発想が現在のものとほとんど変わらない事実に気づいたことが、筆者が「文学史」を書く直接のきっかけになった。

オ 筆者は、「歴史」を過去の完成品ではなく、過去の事実や考え方をつなげることで、そこに新しい物語を見出すことのできる素材のようなものだと考えている。